

# 三郷学で構想する まちづくりワークショップだより

第9号

平成23年  
1月28日発行

- ◆〒341-8501 埼玉県三郷市花和田 648 番地 1
- ◆電話：048-930-7763 / FAX：048-953-1169
- ◆ホームページ：http://www.city.misato.lg.jp/
- ◆三郷市 企画総務部 企画調整課

## 「第5回三郷学で構想するまちづくりワークショップ」を開催！

1月19日（水）は、残すところあと2回となった「三郷学で構想するまちづくりワークショップ」の第5回目が開かれました。

この「三郷学」は、三郷市自治基本条例や第4次三郷市総合計画の内容を実現するための基盤づくりの政策として位置づけられています。

今回も、午後0時30分からワークショップに参加されている方との懇談を行いました。懇談では、ワークショップに参加しての感想を伺い、午後1時30分からワークショップを開催しました。

**はじめに**、市の事務局から、

本日は、政策形成ハンドブック案を作成する班と三郷学講座カリキュラム案・三郷学検定案を作成する班に3班ずつ分かれて、それぞれのグループでファシリテータ、他の班の発表内容に対する意見発表者、他の班からの意見に対する意見発表者を選出してもらうことを説明しました。そのうえで、まとめた案について、発表の内容と方法を検討してもらい、最後に全ての参加者の前で各班ごとに発表してもらうことを説明しました。

**各班**では、ファシリテータ、他の班の発表内容に対する意見発表者、他の班からの意見に対する意見発表者を決めたあと、意見をまとめるにあたり、前回のワークショップの際に出た①政策形成ハンドブック案と②三郷学講座カリキュラム案・三郷学検定案に関する意見が貼られた模造紙で意見の再確認をした後、まとめた案の内容のうち特に強調したい点や他の班との違いなどを検討しました。

また、このワークショップ全体を通して、お手伝いをしていただいている龍谷大学の土山准教授から意見をまとめるにあたり、「発表と質問+応答のためのメモ」についてアドバイスを受けました。



〈ワークショップでの話し合いの様子〉

### 用語解説①

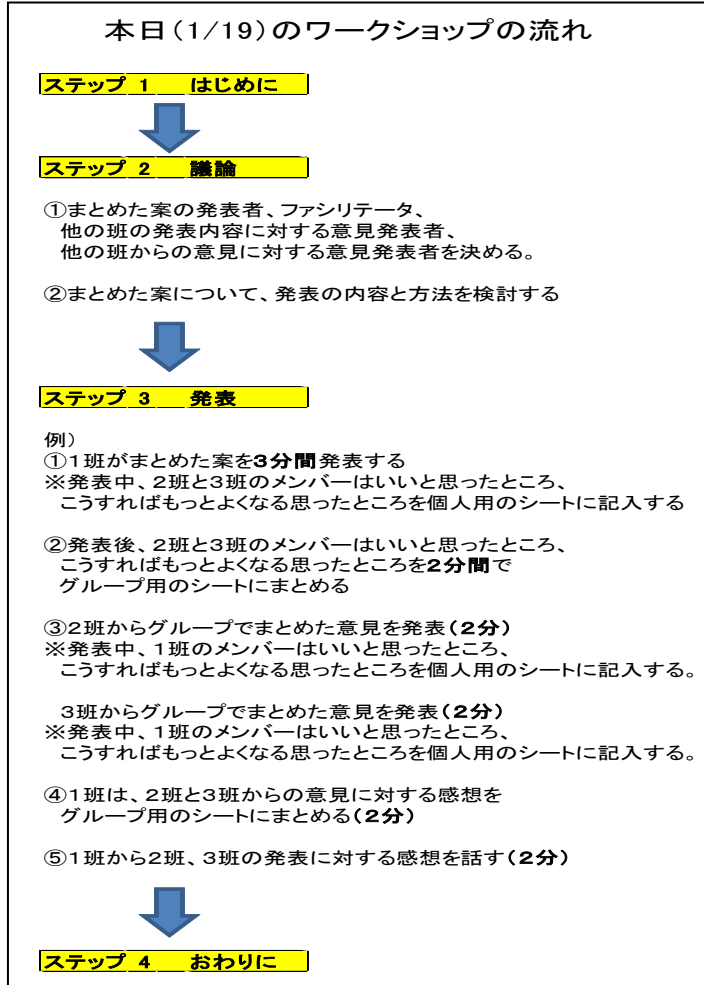
- ・ファシリテータ ⇒対話・議論をしやすくする人。

次に、三郷学講座カリキュラム案を作成する班から発表を行いました。各班がそれぞれまとめた案を参加者の前で3分間発表しました。

その発表中には、同じく三郷学講座カリキュラム案を作成する他の2つの班のメンバーはそれぞれ「いいと思ったところ」「こうすればもっとよくなると思ったところ」をメモし、発表が終わった後、2分間でグループの意見をまとめました。

2つの班からグループでまとめた意見を2分間ずつ発表してもらい、その意見に対して、三郷学講座カリキュラム案を発表した班からグループでまとめた感想を話しました。

なお、三郷学講座カリキュラム案を作成する班からは①三郷学講座カリキュラムで「三郷をよく知りたい」ということが強調され、また②三郷学検定についても、三郷に興味を持ってもらうという視点が大切であるとの発表がされました。



次に、政策形成ハンドブック案を作成する班も同様に各班がまとめた案の発表を行い、意見や感想のキャッチボールを行いました。

政策形成ハンドブック案を作成する班では、今後利用する方の目線がふんだんに盛り込まれた発表がされました。



〈発表の様子〉

次回は、三郷学講座カリキュラム案・三郷学検定案と政策形成ハンドブック案について、1つの案にまとめる予定です。



**用語解説②**

・カリキュラム ⇒ 学習過程、教育課程。